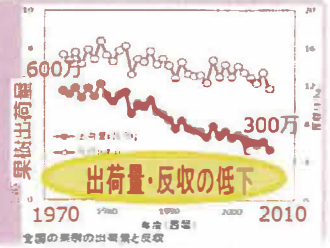


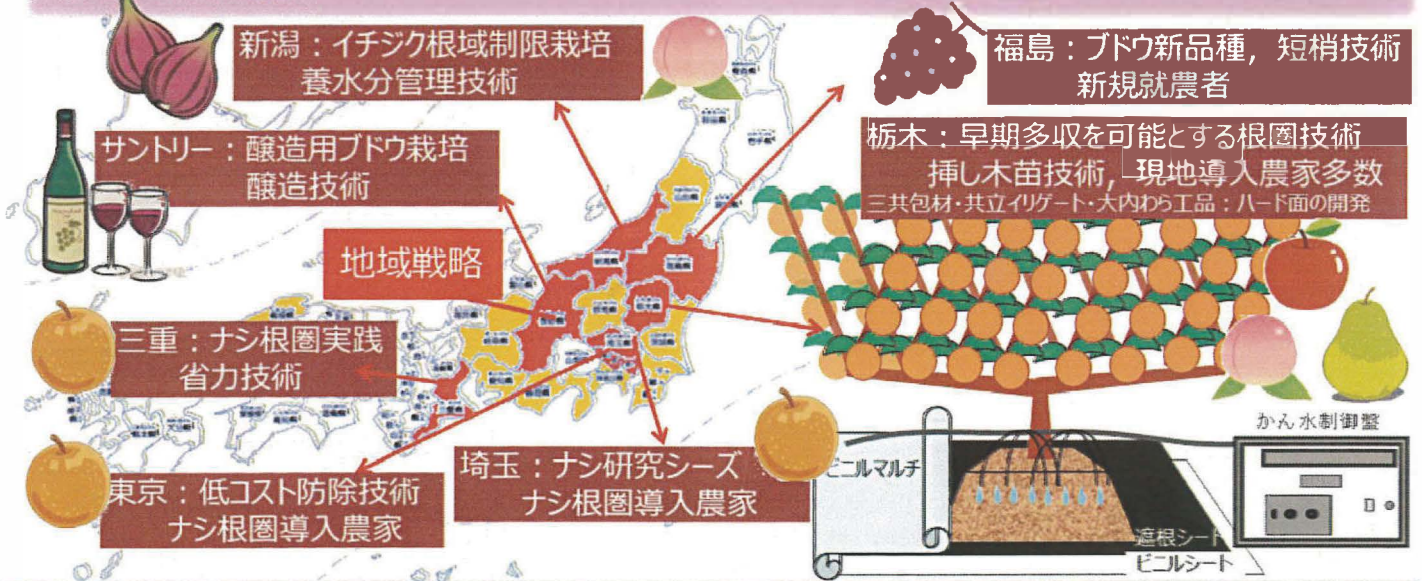
平成 28 年度から「盛土式根圏制御栽培法」を多くの樹種で実用化するためのプロジェクトを開始した

### 次世代の果樹栽培法 「根圏制御栽培法」導入実践による産地活性化

- ① 転作推進による果樹の導入から40年以上経過  
⇒ 「老木化」・「土壌病害」による収量・品質の低下が深刻
- ② 生産安定する成園化に約十年が必要 = 改植により数年無収益  
⇒ 改植が困難 ・土壌病害により枯死



### 【地域戦略】 果樹類の生産性向上のため改植推進による産地活性化



## 研究の内容

### ① 多樹種での根圏導入拡大

多樹種での根圏導入 ⇒ 改植が進み農家所得向上，生産拡大

### ② 点（農家）から面（産地）への波及

多様な経営体で導入，新需要開発 ⇒ 産地活性化・果樹生産体力が向上

### 根圏導入を実践する

#### 【4. 多様な導入実践】 (H28~H30)

- ① 果樹専業経営体導入実践 (福島・栃木)
  - ② 都市型農業経営 " (東京・埼玉)
  - ③ 複合農業経営 " (栃木)
  - ④ 土地利用型農業経営 " (新潟)
  - ⑤ 新規参入経営体 " (サントリー)
- ⇒ 根圏導入効果を調査 (経営状況等)

#### 【5. 新たな需要拡大】 (H29~H30)

- ① 新需要開発：高品質果実を利用したスイーツでの利用，ワイン醸造，根圏(バスツアー等(栃木・サントリー))

#### 根圏に携わる人材を育成する (H28~H30)

- ① 拠点ほ場での実践 (全国への波及)
- ② 指導者養成講座
- ③ 全国での導入者支援講習会
- ④ 根圏導入者ネットワーク
- ⑤ 実践マニュアル作成 (H30) : (①~③栃木・三重) ⇒ 根圏に携わる人材を育成

### ★根圏導入環境を整備する★

<h4>【1. 主要果樹で実用性検討】 (H28~H30)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ブドウ (福島・栃木)・イチジク (新潟)</li> <li>モモ (栃木・新潟)・醸造用ブドウ (サントリー)</li> <li>他樹種 (栃木)</li> </ul>	<h4>【2. 新 Y 字棚等開発】 (H28~H30)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 網棚・果樹棚一体型施設</li> <li>新 Y 字棚の開発</li> </ul>	<h4>【3. クローン苗供給】</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 樹種別に適した発根条件の解明 (栃木, H28~H30)</li> <li>② 苗増殖システムの開発 (栃木, H29~H30)</li> </ul>
---	--	--

### 果樹の根圏制御栽培法実践コンソーシアム共同研究機関

(栃木農式 福島県 埼玉県 東京農産大 新潟県 三重県 サントリーワインインターナショナル(株) 三共包材(株) 共立イリゲート(株) 大内わら工品(株) 栃木県果樹産地振興局)

※ 本事業は、生物系特定産業技術研究支援センターが実施する「革新的技術開発・緊急展開事業 (うち地戦略プロジェクト)」で実施しています。



多

### 根圏2年目の状況 (もも)

◇Y字主枝◇

三共包材(株)



### 根圏2年目剪定後の状況 (もも)

◇Y字主枝◇

三共包材(株)



で

### 根圏2年目の状況 (ぶどう)

◇平行整枝2段仕立て◇

三共包材(株)



### 根圏2年目の剪定後の状況 (ぶどう)

◇平行整枝2段仕立て◇

三共包材(株)



### 根圏2年目の状況 (りんご)

◇Y字主枝◇

三共包材(株)

2

年  
目



### 根圏2年目の状況 (西洋なし)

◇Y字主枝◇

三共包材(株)



結

### 根圏2年目の状況 (かき)

◇一文字主枝◇

三共包材(株)

実



### 根圏2年目の状況 (すもも)

◇一文字主枝◇

三共包材(株)



開始